

引越し体験記(耐震補強工事)

兵庫県立三木高等学校 藤原久美

本校では平成18年度・19年度の2年間に渡って耐震補強工事が行われた。洲本高校(NETWORK第14号)の引越し体験記もおおいに参考になった。

もちろん各校でそれぞれに状況が違うため同じようにはいかないが、参考にしたところ、工夫したところ、気がついた点などを記録した。

三木高等学校 創立84年
昭和41年12月 現校舎に移転(普通科 24クラス)

平成17年度

4月 耐震工事決定
耐震委員会発足

12月
3月

各教科・部で要望を出す
化学・生物の薬品整理、リスト作成
廃棄薬品処理(半分)

平成18年度

4月 仮設建設業者決定
6月 図書館棟・体育館移動
7月
8月末 仮設校舎完成・特別棟移動
9月
10月 特別棟施工業者決定
11月 特別棟工事開始

引越準備
引越
仮設校舎で授業・実験が始まる
理科指導訪問(10/24)

平成19年度

4月 特別棟完成
5月1日 創立記念日

5月27日 本館棟仮設へ引越
11月 本館棟完成、仮設から戻る

引越準備
特別棟 引越
必要なものから順次片づけていく
5月中旬から実験開始

1. 前年度の引越し準備

改修にあたっての要望

準備室内に仕切りを設置。準備室の実験台が古いので新設。蛍光灯が少なく暗い。準備室の流しが低い。実験室の窓下戸棚の改修。上下黒板の新設。教壇の改修。スクリーンの設置。

役割分担

化学 2 生物 2 物理 1 地学 1

備品整理

17年度中に備品の整理、廃棄を行った。古い実験器具や模型などのうち、今後

使用しないと思われるものは最小限度（展示用）にとどめ、残りは処分。

薬品について

教科全員で化学と生物にわかれ、薬品の払い出し（12月期末考査の午後）を行う。両部屋の薬品棚から古い薬品、長期間使用がなく今後も使用しないと思われる薬品を相談しながらコンテナに移し、薬品リストに記入。その際、残す薬品と量も同時に記入。薬品リストは実験準備マニュアルにある薬品分類表を利用。

後日、エクセルの表に入力し、廃棄薬品リスト、保有薬品リストを作成。そのリストを事務室に提出し、廃棄薬品の予算をお願いした。全部でコンテナ13箱・494本、約100万の見積もりになり、そのうち半分の予算措置をしてもらい半数の薬品が処理できたが、残り半分は一緒に仮設に移動させた。

新コード	薬品名	校内NO	払い出した薬品の量と本数			払い出したコンテナの番号				
			廃棄本数	廃棄本数	化学・生物	箱NO	容量	本数(未開封)	本数(開封)	毒
2 1	亜鉛		500	2	化	9	500		1	
1 8	アシ化ナトリウム				化					ゲ
1 8	亜シチオン酸ナトリウム				化					
3 4	アシピン酸				化					
3 4	アシピン酸シクロリド				化		25	1	2	← 保有している薬品
1 5	亜硝酸ナトリウム				化		500		1	ゲ
3 8	L-アスコルビン酸				化					
3 4	アセチルサリチル酸				化					
3 6	アセトアニリド	25	1		化	4				
3 7	アセトアミド				化					
3 3	アセトアルデヒド				化		500			1
3 3	アセトン				化		500			1
3 0	-アソビスイソプロピロニトリル	25	1		化	3				ゲ
3 8	アデノシン5'-三リン酸				化					
3 6	アニリン	70	500	1	化	2	500	1		ゲ
3 6	アニリン硫酸塩				化					ゲ
4 0	アニリンブルー				化					
3 5	あまに油				化					
3 4	p-アミノベンゼンスルホン酸				化					
3 8	アミラーゼ				化					
3 2	アミルアルコール ベンタノール	500	1		化	10	500	1		
3 8	アラビアゴム				化					
4 0	アリザニン アリザリン	25	1		化	3				
4 0	アリザリン				化					
4 0	アリザリンレッドS	25	1		化	3				
1 4	亜硫酸水素ナトリウム	500	1		化	12	500	1		
1 4	亜硫酸ナトリウム	500	1		化	12				
3 2	アルコール（燃料用・工業用）				化					ゲ
3 3	アルブミン				化					
1 1	アルミナ 酸化アルミニウム				化					
2 1	アルミニウム	25	1		化	6				
3 4	安息香酸				化					
2 1	アンチモン	25	1		化	5	25	1		
3 1	アントラセン				化					
1 9	アンモニア水				化		500	3		1ゲ
1 4	アンモニウムミョウバン 硫酸7水ニウム(12水和)	500	1		化	10				
3 0	EDTA 五リン酸四酢酸				化					
2 2	イオウ				化		500	1	1	

2. 引越し直前から仮設まで

<化学>

準備は7月上旬から8月下旬まで

引越8月29日・30日

戸棚（備品）

大型棚も全部移動するよう言われた。薬品がこぼれて染みついた古い薬品棚などはこの機会に廃棄した。一部は補修・塗装して使用。



棚を換え、引き出しは塗り直し

薬品類



保有する薬品は、棚の分類毎にコンテナに詰めた。生徒に、気泡のついたビニールを約 10×20 cm くらいに切ったものを約 200 枚作ってもらって、薬品を梱包する際、瓶の周囲を巻いた。

仮設では理科準備室（地学準備室分で使用しない部屋）にコンテナのまま床に並べ、使用。カーテンを引き遮光、24 時間換気。（払い出した薬品も同じ部屋の隅に置いた。）

調整試薬

木製の小引出に約 100 種類ほどの調整試薬があった。随分以前からのもので、蓋が開かない瓶、ラベルの字が読めないものが多かったので、この機会にすべて処分し、次回使用するときに新しく作り直すことになった。ほとんどの調整試薬を中和・希釈・分別貯蔵。瓶は洗浄し乾かして梱包、汚れのとれないものは処分した。



梱包作業

仮設で使用しなくてもいい器具類は段ボールに梱包し、特別棟に戻るまで梱包したまま実験室の後ろに積んでおいた。使用の可能性があるものは梱包し、ラベルは化学準備室とした。段ボールには必ず側面の左上にマジックで内容を書く。電子天秤は緩衝材を入れ、コンテナに詰めた。スタンドは段ボールに 4～5 台ずつ入れ、蓋はしないでそのまま運んでもらった。ガラス器具類（普段よく使用しているもの）はそれぞれ種類毎にかごやコンテナに詰め、生徒に運んでもらった。（梱包の手間を省く）仮設では籠のまま棚に収納。

仮設で

実験台がないので、代わりに戸棚の上下をばらして置き、下の部分を準備台や計量台として利用した。



< 生物 >

17 年度の薬品払い出しにより、薬品は一部を除き、化学準備室で一括管理することになった。

液浸標本は緩衝材を入れ、コンテナに詰めた。

模型や、標本等はそのまま運んでもらった。

1 学期中にできる実験はできるだけ入れ、2 学期の実験は最小限におさえた。

7 月の期末試験後の授業を使い、担任をしている生物の先生が自分のクラスの生徒に梱包を手伝ってもらった。（約 4 日間）

2 学期に必要な実験器具は、段ボール箱に入れ、生物実験室と書いた。仮設からもどるまで使用しない物は、段ボール箱（約 100 箱）に生物準備室と書いた。顕微鏡は箱のまま、1 台ずつ生徒に運ばせた。

< 物理 >

1 学期中にできる実験はできるだけ入れ、2 学期の実験は最小限におさえた。

段ボールに入りきらない実験器具が多いので、ほとんどそのまま運んでもらった。(緩衝材で梱包はした)
細かい実験用具はコンテナ(小)に入れ、そのまま運んで棚にいった。

<地学>

現在開講されていないので、地学専門の先生に見て頂き、17年度中に備品を整理し保有備品をかなり限定した。

将来使用可能な物は、そのまま理科準備室に運んでもらった。

石や化石の標本などは、一部を展示用に残し、残りは処分した。

<仮設校舎で>

特別棟よりかなり広がったので、実験など使い勝手はよかった。(室内のレイアウトをあらかじめよく考えておくとよい。)段ボールにはかなり細かく物品名を記入しておく。

仮設に引っ越しする際、美術室より多量の古い薬品が出て、廃棄薬品に加えた。

3. 仮設から特別棟へ戻るまで

特別棟の図面や、完成前の現場をみせてもらい、棚などのレイアウトを考えた。できるだけ早く実験室が使用できるよう、戻す場所を考え、実験室・準備室・倉庫のラベル分けをして運び、必要なものから順に整理・収納。

<耐震工事を終えて>



特別棟の引越を終え、約1ヶ月ほどで一部を除き、ほとんどの整理が終わった。化学準備室は仕切りができたおかげで、準備室に薬品の臭いがしなくなった。また、調整薬品を作るのに使い勝手も格段によくなり、保有薬品が約半分になったので、すべて薬品庫内に収納できるようになった。

生物準備室や物理準備室も明るくなり、使いやすくなった。実験室はほとんど変わっていないが、巨大なスクリーンが新設され、古い棚などは改修された。廃棄薬品の残りは予算がつき次第、順次処分していく予定。

< 備考 >

引越を見越して、薬品の払い出しを行った様子。コンテナに入れていきながらリストを作成していった。



薬品庫内（リニューアル前後）
壁を塗り直し、床を張り替えてもらう。



薬品棚

薬品の払い出しを行ったため、各棚に余裕ができた。

工事終了後、ホームセンターで金属の棒を購入し、転落防止のバーをつけた。



仮設での工夫

キャスター付きの棚が大活躍



上下の棚を別々に置き、上部を台として利用した。



段ボールやカゴなどを利用。





仮設で使用しない物は、戻るまで段ボールに入れたまま。



保管薬品は、棚ごとにコンテナに詰め、そのまま使用した。



木製収納戸棚のリニューアル

上部の棚を取り替え、引き出しのラベルをはがし、ペンキで塗り直した。
下の小引き出しは、新しく作った調整試薬を入れる。



引き出しの中のしきりを取り、底にシートを貼って、小物を収納。
引き出しをペンキで塗り直した。

